

# アフリカの野生食物と伝統食の可能性： タンザニアからの研究成果

## 2022年1月21日(金)

時間 16時～18時(日本時間)

開催方法 オンライン (Zoom)

開場 15時50分  
言語 英語 (通訳なし)  
参加費 無料

当シンポジウムでは、タンザニアの野生植物と伝統食の可能性に関する研究成果を紹介します。

スキャン画像：林 将之

お問い合わせ先

宇都宮大学 世界展開力強化事業推進室

TEL : 028-649-5100

MAIL : tenkai@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

UU-A Web サイト TOP <https://uu-a.utsunomiya-u.ac.jp/>

シンポジウム ページ <https://uu-a.utsunomiya-u.ac.jp/symposium.html>

お申し込み締切：  
2022年1月20日

お申し込みフォーム

[https://docs.google.com/forms/d/1wgFgT3-y-UPw-\\_rgBWI7GIJPZuCbqQmK1C4gk8aAN10/edit](https://docs.google.com/forms/d/1wgFgT3-y-UPw-_rgBWI7GIJPZuCbqQmK1C4gk8aAN10/edit)



このシンポジウムは、文部科学省から採択された、宇都宮大学・世界展開力強化事業「アフリカの潜在力と日本の科学技術融合によるSDGs 貢献人材育成プログラム」の一環として実施します。

## 予 定

司会進行：宇都宮大学 留学生・国際交流センター 飯塚 明子

### ■ 研究成果発表

「東アフリカの野生食用植物・在来食の可能性ータンザニアにおける栄養分析を通して」

講師：阪本 公美子 (宇都宮大学 国際学部教授)

武藤 杏子 (宇都宮大学 国際学部附属多文化共圏センター研究員)

大森 玲子 (宇都宮大学 地域デザイン科学部教授)

### ■ 研究成果発表

「タンザニア半乾燥地におけるアフリカの食用雑草の栄養分析」

講師：Dr. Lilian KAALE (ダルエスサラーム大学 (タンザニア))

阪本 公美子 教授

### ■ 今後の研究

「バオバブの健康増進と食料安全保障の可能性」

講師：Prof. Linus MUNISHI (ネルソンマンデラアフリカ科学技術大学院大学 (タンザニア))

### ■ 質疑応答

### ■ 閉会



阪本 公美子 教授



武藤 杏子 研究員



Dr. Lilian KAALE



Prof. Linus MUNISHI

スキャン画像：林 将之

## 共 催

宇都宮大学 国際学部附属多文化共圏センター (CMPS)

宇都宮大学 雑草と里山の科学教育センター

日本学術振興会 科研費「東アフリカの野生食用植物・在来食の可能性ータンザニアにおける栄養分析を通して」  
 (基盤研究 (B)：2018 年 4 月 1 日ー 2022 年 3 月 31 日)

このシンポジウムは、文部科学省から採択された、宇都宮大学・世界展開力強化事業「アフリカの潜在力と日本の科学技術融合による SDGs 貢献人材育成プログラム」の一環として実施します。